

基礎案での記載箇所		章項目	5. 7. 2	ページ	p57	行	13行目
検討名	大戸川ダム建設事業			河川名	大戸川ダム		
府 県	滋賀県	市町村	大津市		地先	上田上桐生町地先	

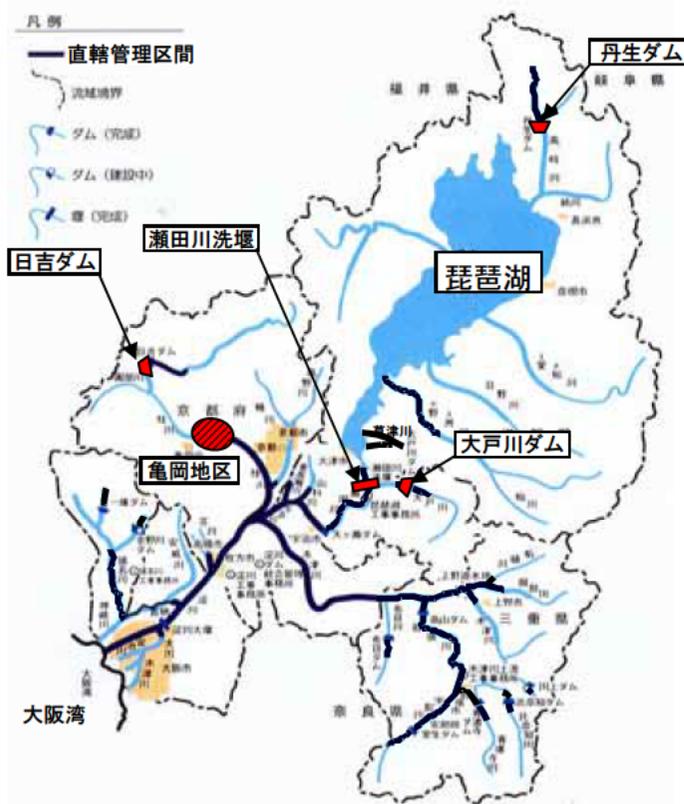
### ●現状の課題

- 琵琶湖の急速な水位低下(魚類の産卵への影響)
- 狭窄部上流(亀岡地区)の浸水被害
- 土砂移動の連続性の遮断
- 大戸川での洪水被害の頻発
- 宇治川・淀川での洪水被害ポテンシャルの軽減
- 大戸川流域及び大戸川の自然環境のあるべき姿を検討し創出することが求められている

### ●調査検討の方針

- 琵琶湖における急速な水位低下と低い水位時期の長期化が生態系に及ぼす影響の軽減策を緊急に実施する必要がある。急速な水位低下の抑制策としては、大戸川ダム等の貯留施設の建設が有効である。
- 狭窄部の開削を当面できないことから保津峡上流の亀岡地区の浸水被害の軽減を図る必要があり、日吉ダムの治水容量を増量することにより浸水被害の軽減を図るためには、利水容量を大戸川ダムに振り替えることが有効である。
- 大戸川の洪水被害の軽減のため、治水対策が必要である。このためには、大戸川ダムの建設が有効である。なお、滋賀県の河川整備計画との整合を図る。
- 大戸川ダムは下流部の浸水被害を軽減する効果がある。

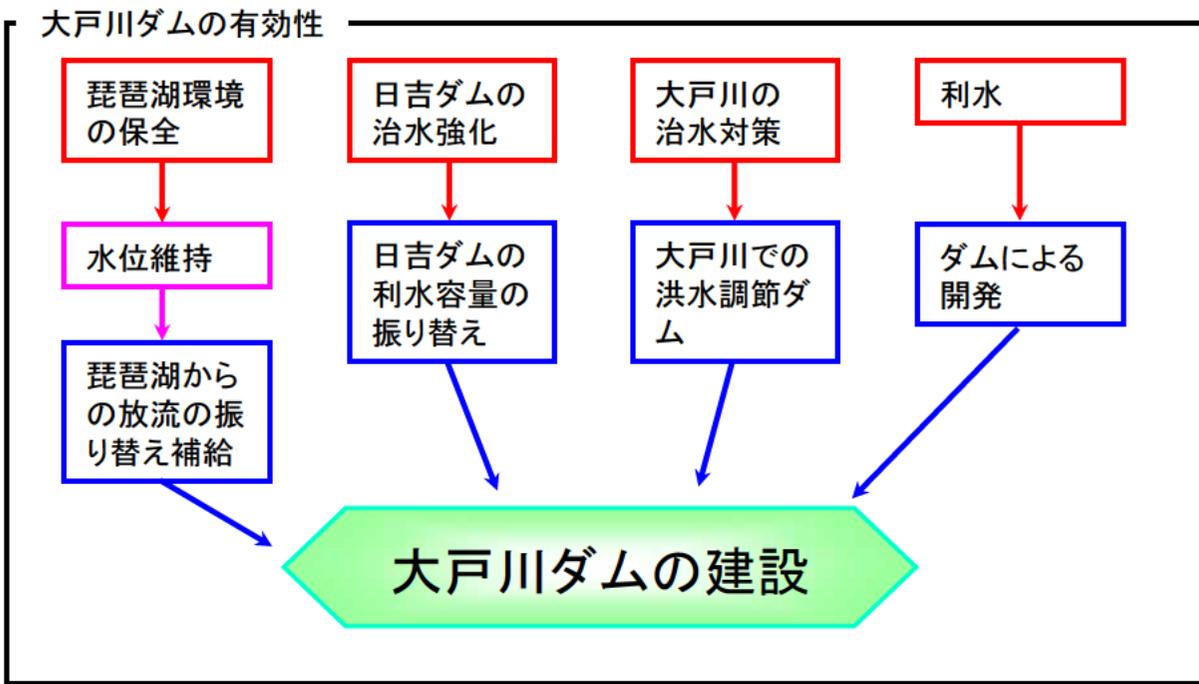
### ●位置図



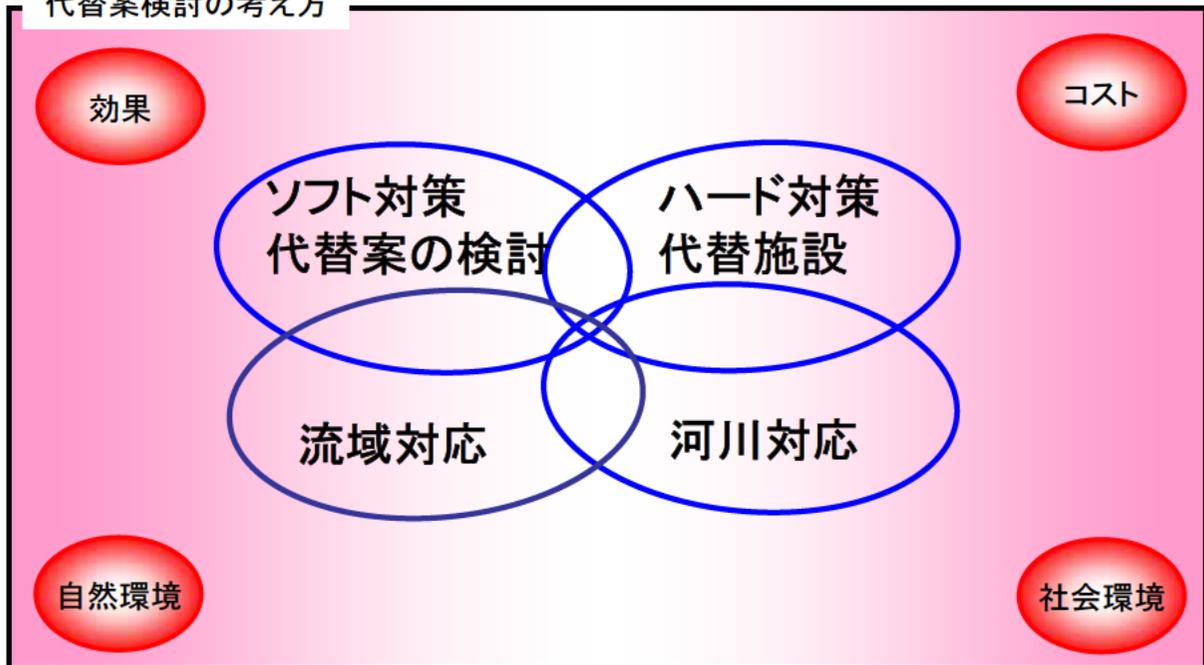
### ●具体的な調査検討内容

- 代替案に関して、さらに詳細な検討を行う。
- 琵琶湖の水位低下抑制のための大戸川ダムからの放流による効果と、その自然環境に及ぼす影響について、さらに詳細な調査・検討を行う。
- 日吉ダムの利水容量の振り替えについての検討を行う。
- 貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更に伴う貯水池周辺やダム下流に与える影響をはじめ、環境等の諸調査を行う。
- 土砂移動の連続性を確保する方策の検討を行う。
- 利水について、水需要の精査確認を行う。

代替案の検討



代替案検討の考え方



- 淀川水系の課題に対する代替案の検討
- 大戸川ダムの代替案の検討

## 琵琶湖環境の保全の代替案の検討

急速な水位低下が生ずると卵が水中から水上に干出・乾燥し、卵にとって致命的となる。



大戸川ダムからの  
補給による水位維持の代替案の検討

## 亀岡地区の治水対策(案)

亀岡地区では、狭窄部の保津峡の存在と緩い河川勾配により浸水被害が頻発しています。



大戸川ダムへの  
利水容量の振り替え効果の代替案の検討

## 大戸川での洪水被害の軽減



近年も洪水被害が発生している。

## 宇治川・淀川での被害ポテンシャルの軽減

宇治川・淀川の脆弱な堤防は、越水以前に破堤する危険性を秘めている。

天ヶ瀬ダム再開発事業と連携し、宇治川・淀川の被害ポテンシャル低減効果を増大させる方策を検討する。



「大戸川での洪水被害の軽減」および「宇治川・淀川での被害ポテンシャルの軽減」の検討にあたっては、土砂流出の多い大戸川流域の特性を考慮する。

- ・ダムサイト下流の土砂流出
- ・貯水池末端の堆砂による上流の浸水被害

## 琵琶湖の水位低下抑制対策

大戸川ダムによる水位低下抑制対策と効果

- ・振り替え補給方法
- ・振り替え補給効果と影響
- ・振り替え補給の代替案

琵琶湖の水位低下抑制対策については、水位低下を抑制すべき時期としてのコイ科魚類の産卵調査、産卵適地の調査等を行い、補給量の効果について検討を行った。

大戸川ダムに異常渇水対策のための容量を確保すれば、一定の効果は期待できるが、利水対策としての必要性、緊急性、治水対策としての効率性が低下したことから、この目的のためだけに容量の確保は行わないこととする。したがって、振り替え補給効果と影響及びその代替案についての検討は行っていない。

## 治水

計画規模、対象洪水

大戸川ダムによる洪水調節の方法

- ・大戸川の河道計画
- ・洪水調節の方法
- 土砂流出対策
- 貯水池上流端の治水対策
- 治水効果
- 治水対策の代替案

現在の河川整備状況では、宇治川及び淀川の水害の危険性を増大させるおそれがあるため、淀川洪水時及び天ヶ瀬ダム洪水調節時における瀬田川洗堰の全閉ルールは当面継続せざるを得ません。また、保津峡、岩倉峡の開削は、桂川、木津川及び淀川における水害の危険性を増大させるおそれがあるため当面実施することはできません。保津峡、岩倉峡を開削するまでは、天ヶ瀬ダム再開発実施後においては、大戸川ダムの洪水調節による宇治川及び淀川での洪水調節効果は小さいです。大戸川下流においては、河道への土砂堆積の軽減も含め、大戸川ダムの洪水調節による効果は大きいですが、治水単独目的の事業となることで治水分の事業費が増加し経済的にも不利になり、河道改修等のダム以外の対策案の方がコストの観点から有利です。大戸川の治水対策の実施について滋賀県と調整します。

## 日吉ダムの治水機能強化

大戸川ダムによる利水容量の振替

日吉ダムの治水機能強化の代替案

日吉ダムの治水容量の強化による亀岡地区での浸水被害の軽減効果の検討、利水容量の振り替えによる影響の検討を行った結果、保津峡上流の亀岡地区の浸水被害の軽減を図るため、大戸川ダムへの利水容量の振り替えによる日吉ダムの治水容量の増大については、その効果は僅かであり、大戸川ダムへの利水容量の振り替えにより日吉ダムの治水容量を増大させる案は採用しないとしました。

## 土砂移動の連続性の確保

淀川水系一貫としての土砂移動の連続性について、現況把握を行い、連続性の確保は必要であるが、ダムを当面実施しないため、その施策の具体的な検討については行っていない。

## 大戸川ダム周辺の環境調査

当面ダム建設を行わない方向であることから、ダム建設に伴う環境への影響について記述できません。これまでの調査検討結果については、HPで公表しました。

## 代替案の比較検討

琵琶湖水位低下抑制対策の代替案

日吉ダムの治水機能強化対策の代替案

治水対策の代替案

代替案の比較検討のまとめ

大戸川の治水対策の実施について滋賀県と調整するうえで、治水対策及びその代替案について検討します。

## 大戸川ダムの有効性の検討

大戸川ダムの有効性の検討

調査検討の結果、利水者は全量撤退の見込みである。大戸川ダムによる大戸川・宇治川・淀川の洪水調節の必要性に変わりはないが、狭窄部を開削するまでは、宇治川・淀川に対する洪水調節効果は小さく、治水単独目的の事業となることで治水分の事業費が増加し経済的にも不利になる。したがって、大戸川ダム事業は当面実施しない。